

第三段 (p193 6行目～p195 7行目)

- (①不確実) () な状況下で海に飛び込む (②決断) () をするペンギン
(③創造) () 的な人間

← 脳 (④感情) () のシステムのはたらきをとおしてつながる。

人生で直面する問題はほとんど (①不確実) ()

(①不確実) () な状況下での判断

*決まった (⑤ルール) ()、方程式に従う。

← (①不確実) () さを避ける。確実な解答を求める。

← 判断をあやまる。(⑥危険) ()

*感情に支えられた (⑦直観) () を信じて判断、決断、行動する。

← 道が開ける。

← 決断するための (⑦直観) () を支える感情の (⑧技術) () を磨く必要。

問題

問1 本文では、不確実な状況下での対応について述べられている。

(①) () (⑧) () に本文中から適当な語句を抜き出して入れよ。

問2

「脳の感情のシステムのはたらきをとおしてつながっている」とは、どういうことか。

不確実性の海に飛び込むペンギンと創造的な人間は脳の感情のシステムにおいて、共通する部分があるということ。

不確実性の海に飛び込むペンギンの脳の感情のシステムが進化していく過程において、人間の中に創造的な部分が生まれてきたという事。

問3

不確実な状況下で、決まったルールや方程式に従い、確実な解答を求めることが「危険」なのは、なぜか。

確実な解答を探し、決断や行動ができず、状況を変えられなくなってしまうので。

問4

筆者は不確実な状況下では、何によって判断、行動することが良いと述べているか。

感情に支えられた直観